

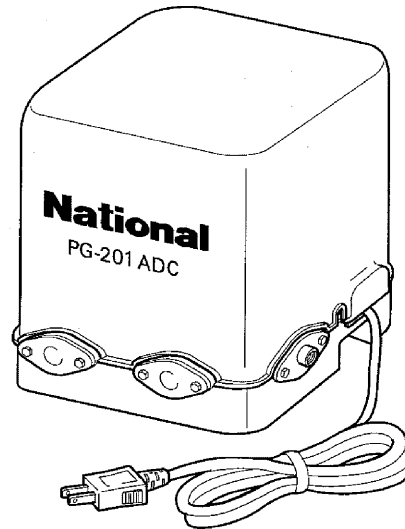
# Technical Guide

このテクニカルガイドは修理技術者を対象とした資料です。

## 井戸ポンプ

## PG-131ADC / 201ADC

家庭用



※ 鉛フリーはんだを採用（鉛フリーはんだの材料：すず＋銀＋銅、溶解点：217℃）

## 目次

	ページ
修理作業安全上のご注意	2
安全上のご注意	3
設置上のご願い	9
特長	10
製品について	10
仕様	11
性能曲線	12
外形寸法図	13
構造図	14
作動原理	15
配管工事の前に	16
配管工事	16

	ページ
電気配線工事	18
試運転	20
凍結防止	21
消耗部品について	22
正しくお使いいただくためのお願い	23
各部のなまえとはたらき	24
使いかた	24
故障かな？と思ったときには	25
故障診断	28
分解手順	31



★本機の外観、回路、使用部品は性能の向上、その他により予告なく変更することがあります。

# 修理作業安全上のご注意



必ずお守りください

修理作業時の事故防止と、作業後の製品の安全確保のために、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。





■ 表示内容を無視したときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 <b>警告</b>	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 <b>注意</b>	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。




■ お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。  
(下記は、図記号の一例です。)

	このような図記号は、気をつけていただく「注意喚起」内容です。
	このような図記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

## 警告

<p>修理後の配線引回しは、もとどおりにしてください。</p>  <p>リード線が部品端面に触れ、感電や発火、故障の原因になります。</p>	<p>感電に注意してください。</p>  <p>電圧測定など通電サービス時には、充電部、リード線端子部での感電に十分注意してください。</p> <p>感電注意</p>
<p>修理時には電源プラグを抜くか、漏電しゃ断器を切ってください。</p>  <p>電源プラグを抜く</p> <p>分解、組立、部品交換時は、電源プラグを抜くか、漏電しゃ断器を切って作業を行ってください。</p> <p>感電やけがをする原因になります。</p>	<p>必ず指定部品を使用してください。</p>  <p>回路図、部品表に△印のある指定部品は、必ず指定の部品を使用してください。</p> <p>発煙、発火や故障の原因になります。</p>

## 注意

<p>修理後の組み立ては、もとどおりにしてください。</p>  <p>水漏れの原因になることがあります。万一、水漏れが起こると大きな補償問題になります。</p>	<p>最終点検時は、ポンプ本体や配管接続部の水漏れ点検を十分に行ってください。</p>  <p>万一、水漏れが起こると大きな補償問題になります。</p>
<p>分解、交換、組立時は手袋を着用してください。</p>  <p>金属端面によるけがや、通電サービス時の感電を防止するために必ず手袋を着用してください。</p>	



# 安全上のご注意

必ずお守りください



(使用上について)

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。






■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 <b>警告</b>	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 <b>注意</b>	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。  
(下記は、絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

## 警告

<p>本体の近くにガス類容器や引火物を置かない (灯油・ガソリン・シンナー・スプレー類など)</p> <p> 禁止</p> <p>機器の電気部品のスパークで発火することがあります。</p>	<p>絶対に分解したり、修理・改造はしない</p> <p> 分解禁止</p> <p>発火したり、異常動作してけがの原因になります。</p> <p>● 修理は販売店（工事店）にご相談ください。</p>
<p>ポンプカバーとポンプカバー固定ボルトを、はずしたままにしない</p> <p> 禁止</p> <p>モーター内に雨水やほこりが入り、絶縁劣化などで感電や火災の原因になります。</p>	<p>ポンプカバー内部に物を入れない</p> <p> 禁止</p> <p>過熱による発火で火災の原因になります。</p>
<p>お手入れ・点検のときは必ず電源プラグを抜くか、漏電しゃ断器を切る</p> <p> 電源プラグを抜く</p> <p>感電やけがの原因になります。</p>	

**警告**

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししたり、漏電  
しゃ断器を操作しない



ぬれ手禁止

感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電  
や発熱による火災の原因になり  
ます。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しな  
いでください。

電源コード・電源プラグを破損するようなこと  
はしない



禁止

- ・ 傷つける ・ 加工する
- ・ 無理に曲げる ・ ねじる
- ・ 引っ張る
- ・ 熱器具に近づける
- ・ 重い物を載せる ・ 束ねる など

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の  
原因になります。

- コードやプラグの修理は販売店（工事店）にご  
相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、  
指定電圧以外での使用はしない



禁止

たこ足配線などで、定格を超え  
ると、発熱による火災の原因に  
なります。

凍結防止のために、ポンプカバーやポンプカバー  
内のモーター部に毛布などをかぶせない



禁止

過熱による発火で、火災の原因  
になります。

- 凍結防止については 21 ページをご参照ください。

電源プラグのほこりなどは、定期的に取り除く



プラグにほこりなどがたまると、  
湿気などで絶縁不良となり、火  
災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

飲用に使用する場合は、設置時および定期的に、水質検査を保健所へ依頼する



水質が悪化していると、飲んで体調を損なう原因になります。

## ⚠ 注意

### 設置工事は、販売店（工事店）に依頼する



水漏れの原因になることがあります。

### 本体の上に乗ったり、物を置いたりしない



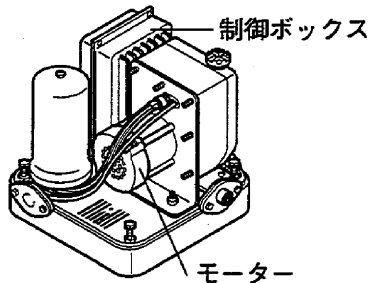
事故の原因になることがあります。

禁止

### 制御ボックスやモーターに触れない



接触禁止



高温になっていますので、やけどをすることがあります。

### 空運転（水が出ない状態での運転）は絶対にしない



過熱による発火で、火災の原因になることがあります。

禁止

● 水が出ない場合は、すぐに電源プラグを抜くか、漏電しゃ断器を切り、販売店（工事店）に連絡してください。

### 長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜くか、漏電しゃ断器を切る



電源プラグを抜く

絶縁劣化による感電や、漏電による火災の原因になることがあります。

● 凍結の恐れがある場合は、ポンプの水抜きを販売店（工事店）にご相談ください。

### 動かなくなったり異常がある場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜くか、漏電しゃ断器を切る



電源プラグを抜く

感電や漏電・ショートなどによる火災の原因になることがあります。

● 修理・点検は販売店（工事店）にご相談ください。

### 3～4日間以上、水を使用しなかった場合は、じゃ口を開き、しばらく水を出し（5～6分間）、水がきれいになってから使用する



水質が悪化していると、飲んで体調を損なう原因になります。



# 安全上のご注意

必ずお守りください



(工事上について)

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。





■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 <b>警告</b>	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 <b>注意</b>	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。  
(下記は、絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

## 警告

<p>電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない</p>  禁止	<ul style="list-style-type: none"><li>・傷つける ・加工する</li><li>・熱器具に近づける</li><li>・ねじる ・引っ張る</li><li>・無理に曲げる</li><li>・重い物を載せる ・束ねる など</li></ul>	<p>電源プラグは根元まで確実に差し込む</p> 	<p>差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。</p>
<ul style="list-style-type: none"><li>● 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。</li></ul>		
<p>コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、指定電圧以外での使用はしない</p>  禁止	<p>たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。</p>	<p>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししたり、漏電しゃ断器を操作しない</p>  ぬれ手禁止	<p>感電の原因になります。</p>

## ⚠ 警告

### アース線は必ず取り付ける〔D種接地工事(旧第3種接地工事)〕



故障や漏電のときに感電の原因になります。アース線の取り付けは、法律で義務づけられています。

アース線接続

- アース線をポンプのアース端子に接続し、アース棒を地中に埋めてください。
- アース工事は電気設備技術基準に基づき、電気工事士の方が行ってください。

アース工事は、必ず電源プラグを抜くか、漏電しゃ断器を切って行う



電源プラグを抜く

感電の原因になります。

アース線はガス管、水道管、電話線および避雷針に絶対に接続しない



禁止

爆発・感電の原因になります。

配線工事は、電気設備技術基準や内線規程に従い、安全・確実に行う



誤った配線工事は、感電や火災の原因になります。

- 配線工事は、電気工事士の方が行ってください。

漏電しゃ断器を必ず取り付ける



故障や漏電のときに感電の原因になります。漏電しゃ断器の取り付けは、法律で義務づけられています。

- 万一漏電が起こった場合、感電を防止します。

絶対に改造しない



禁止

発火したり、異常動作してけがの原因になります。

ポンプカバー内部に物を入れない



禁止

過熱による発火で、火災の原因になります。

飲用に使用する場合は、設置時に水質検査を保健所へ依頼する



有害な物質が含まれている場合、飲むと体調を損なう原因になります。

凍結防止のために、ポンプカバーやポンプカバー内のモーター部に毛布などをかぶせない



禁止

過熱による発火で、火災の原因になります。

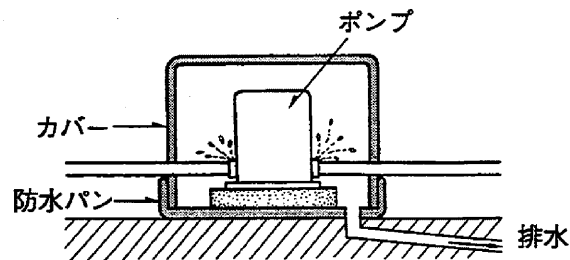
- 凍結防止については21ページをご参照ください。

## ⚠ 注意

ポンプは屋外に設置する  
設置条件により屋内設置となる場合は、必ず水漏れ対策を行う



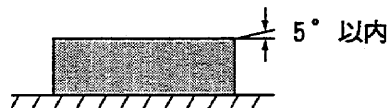
### 水漏れ対策例



修理・点検時や万一の故障のときに水が漏れますと、周囲や階下などが水びたしになり、大きな補償問題になることがあります。

- カバーは風通しのできる構造にしてください。
- 防水パン・カバーなどで、噴き出した水が必ず排水できるようにしてください。

基礎をコンクリートやブロックなどで水平につくる



倒れて事故の原因になることがあります。



## 設置上のお願い

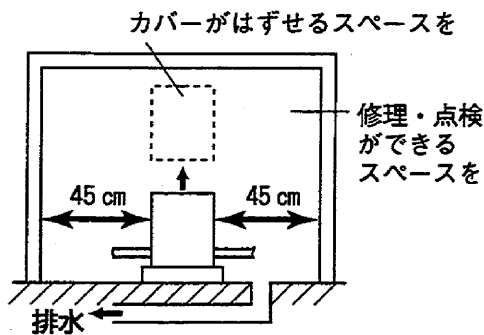
清水以外の液体（塩水・油・化学薬品など）には絶対に使用しないでください。また、使用可能最高水温（40℃）以下でご使用ください。

- 部品がいたみ、水漏れや故障の原因になることがあります。

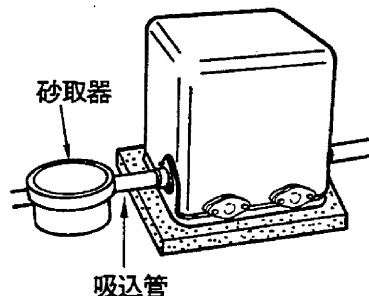
必ず、本機および配管の凍結防止を行ってください。（21 ページ参照）

- 冬期は、暖かい地方でも思いがけない寒波のためポンプや配管が凍結し、破損することがあります。

修理・点検ができるスペースを確保してください。また、修理・点検時に水が出る場合がありますので、排水ができるようにしてください。



砂を吸い上げやすい井戸には必ず、砂取器（市販品）を取り付けてください。



- ポンプに砂が入ると故障の原因になります。

ポンプの吐出側配管にはバルブを取り付けてください。

- 修理・点検のときに必要です。

ポンプ設置後、配管の水漏れを必ずチェックしてください。

周囲温度が 40℃以上のところには設置しないでください。

ポンプはできるだけ井戸の近くに設置してください。

### 井戸から離して設置される場合

井戸からポンプまでの距離は、吸上げ高さにより下表の横引きできる長さ以内で配管してください。

吸上げ高さ (m)	8	7	6	5
横引きできる長さ (m)	2	3	4	5

## 特 長

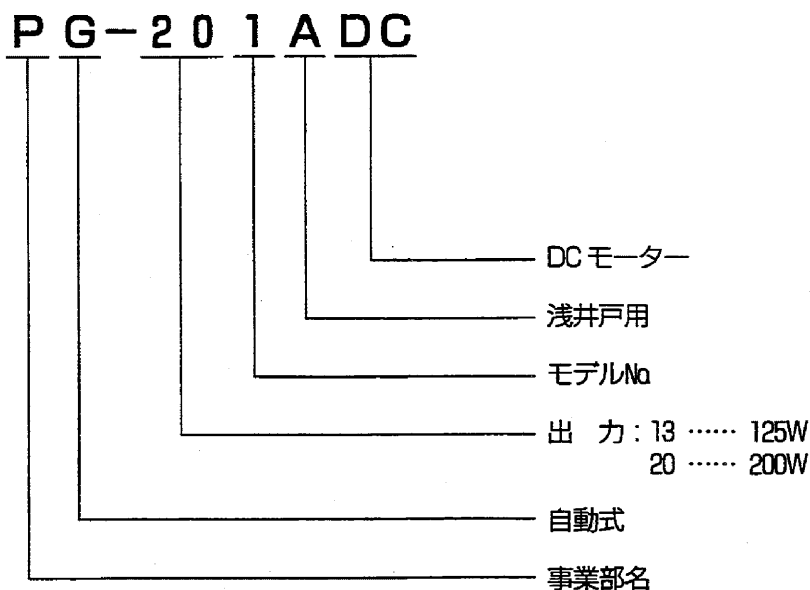
- ① 当社独自のジェット内蔵遠心ポンプを採用し、豊富な揚水量と低騒音を両立
- ② DC モーターのインバーター制御により給水圧力を一定に保つとともに、省エネ運転を実現
- ③ 当社従来機種との配管互換性を確保。コンパクトポンプとは配管完全互換、圧力タンクタイプとは互換部材を準備

### ■ その他の特長

- 耐久性と清潔性にこだわった材質・材料を採用
- 通風穴を取り去った全閉モーター採用で耐久性を向上
- メンテナンス性アップ  
ポンプ異常加熱、ポンプロック、圧力センサー異常、温度センサー異常などの各種異常を制御部のLEDランプで表示し、故障診断を容易にしました。
- 除菌器対応  
専用出力端子に接続することで従来の圧力タンク式同様除菌器、除鉄除菌器が使用できます。

## 製品について

### ■ 品番の読み方

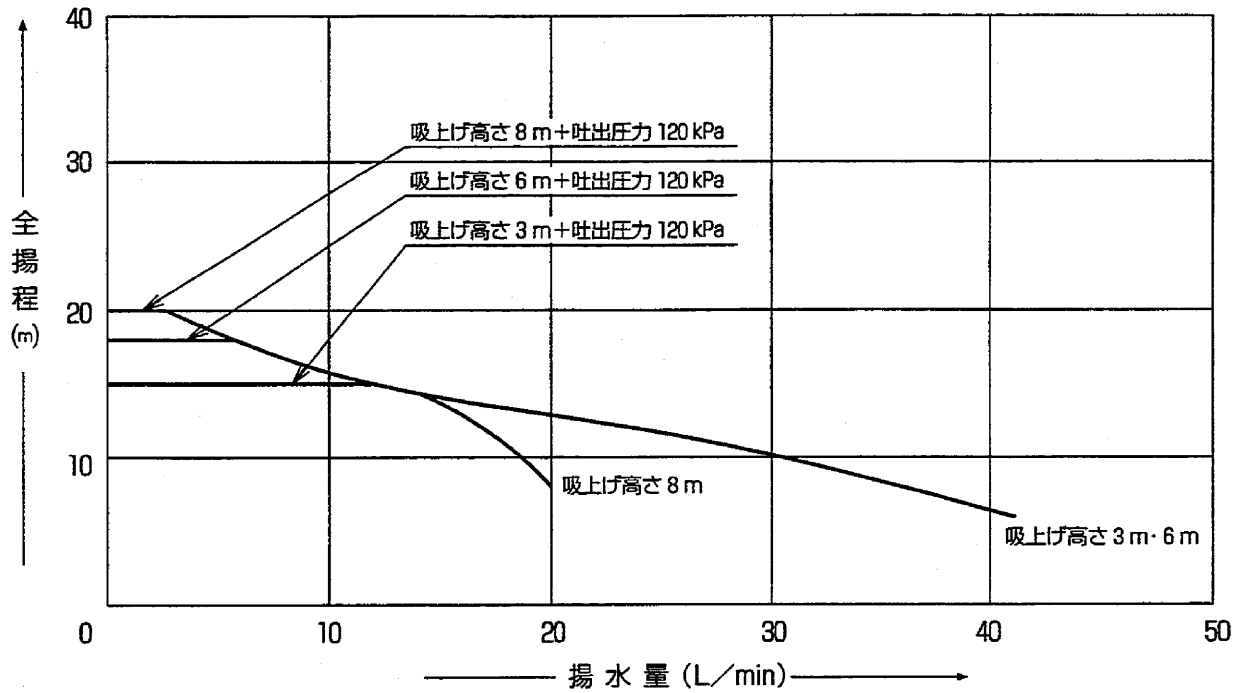


# 仕 様

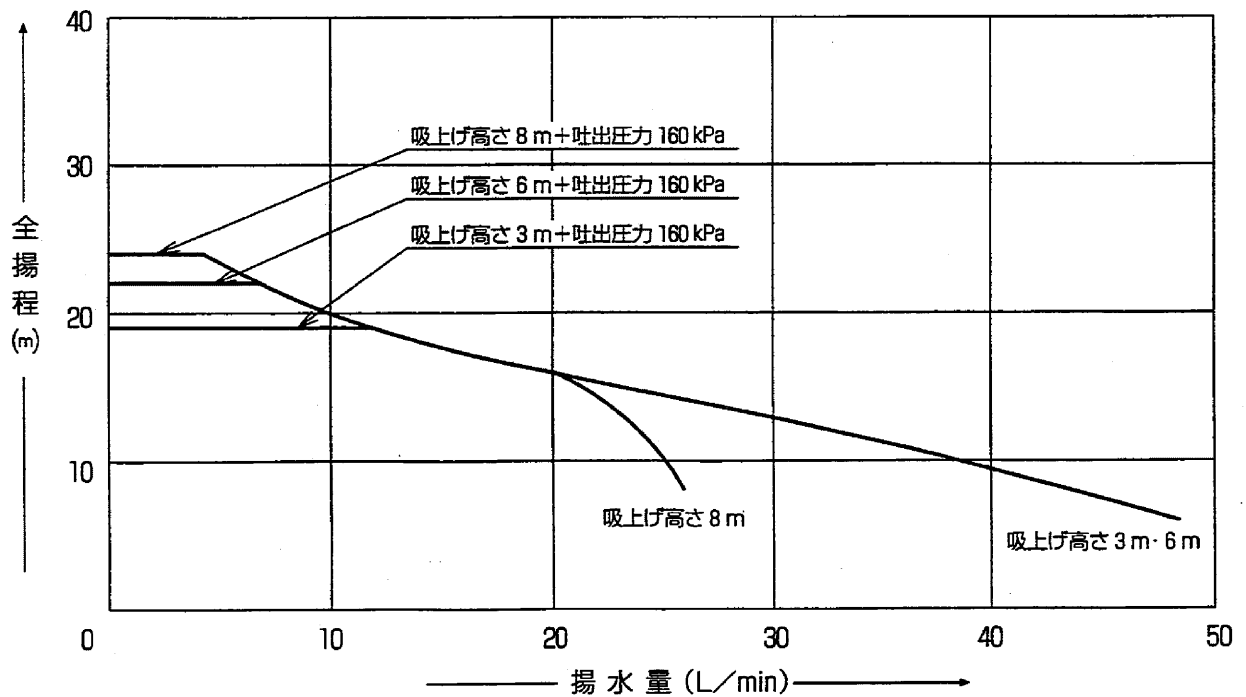
項 目		品 番	PG-131ADC		PG-201ADC	
ポ ン プ 部	形 式		ジェット内蔵遠心ポンプ 自吸式			
	吸上げ高さ	m	8			
	押上げ高さ	m	9		12	
	揚水量 (全揚程 12 m時)	L/min	吸上高さ 3 m時	24	吸上高さ 3 m時	33
		吸上高さ 6 m時	24	吸上高さ 6 m時	33	
		吸上高さ 8 m時	18	吸上高さ 8 m時	24	
制 御 方 式			吐出圧一定制御			
電 源		V	単相・100 (プラグ付電源コード付)			
電 動 機	形 式		DC ブラシレスモーター			
	定 格 出 力	W	125		200	
定 格 周 波 数		Hz	50 - 60			
定 格 消 費 電 力		W	250		360	
配 管 径	吸 込 側		20A (3/4B)		25A (1B)	
	吐 出 側		20A (3/4B)		25A (1B)	
外 形 寸 法		mm	265×270×300 (幅×奥行×高さ)			
製 品 質 量		kg	10			
ポンプ起動圧力		kPa	100		140	
ポンプ制御圧力		kPa	120		160	
ポンプ停止時の流量		L/min	3以下			
騒 音	音	dB(A)	全揚程 12m・開放時	45	全揚程 12m・開放時	46
			全揚程 12m・6L/min時	40	全揚程 12m・6L/min時	40
電動機保護装置			過電流保護 (インバーター内蔵)			
アキュムレーター封入圧		kPa	60			
そ の 他 機 能			除菌器出力端子			
使用可能最高水温		℃	40			
軸 封 装 置			開放型セラミックメカニカルシール			
付 属 品			ストレーナ			

# 性能曲線

## ● PG-131ADC

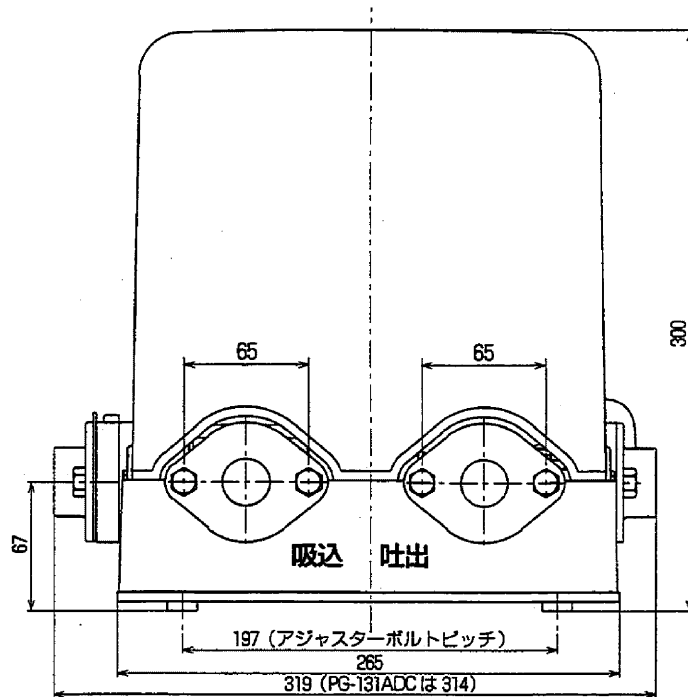
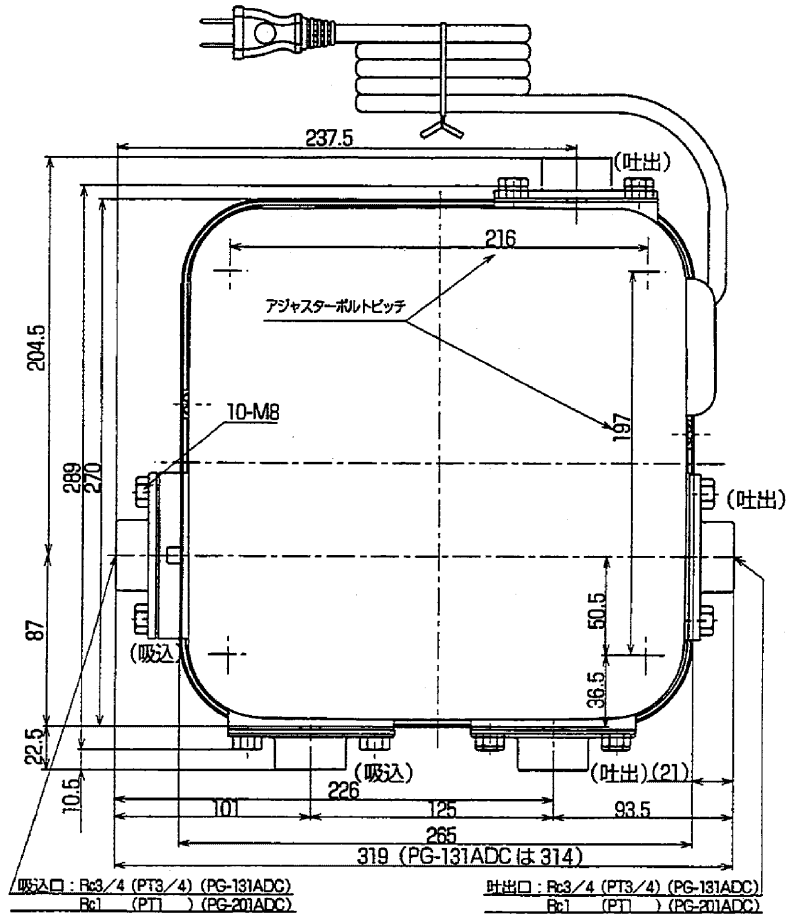


## ● PG-201ADC



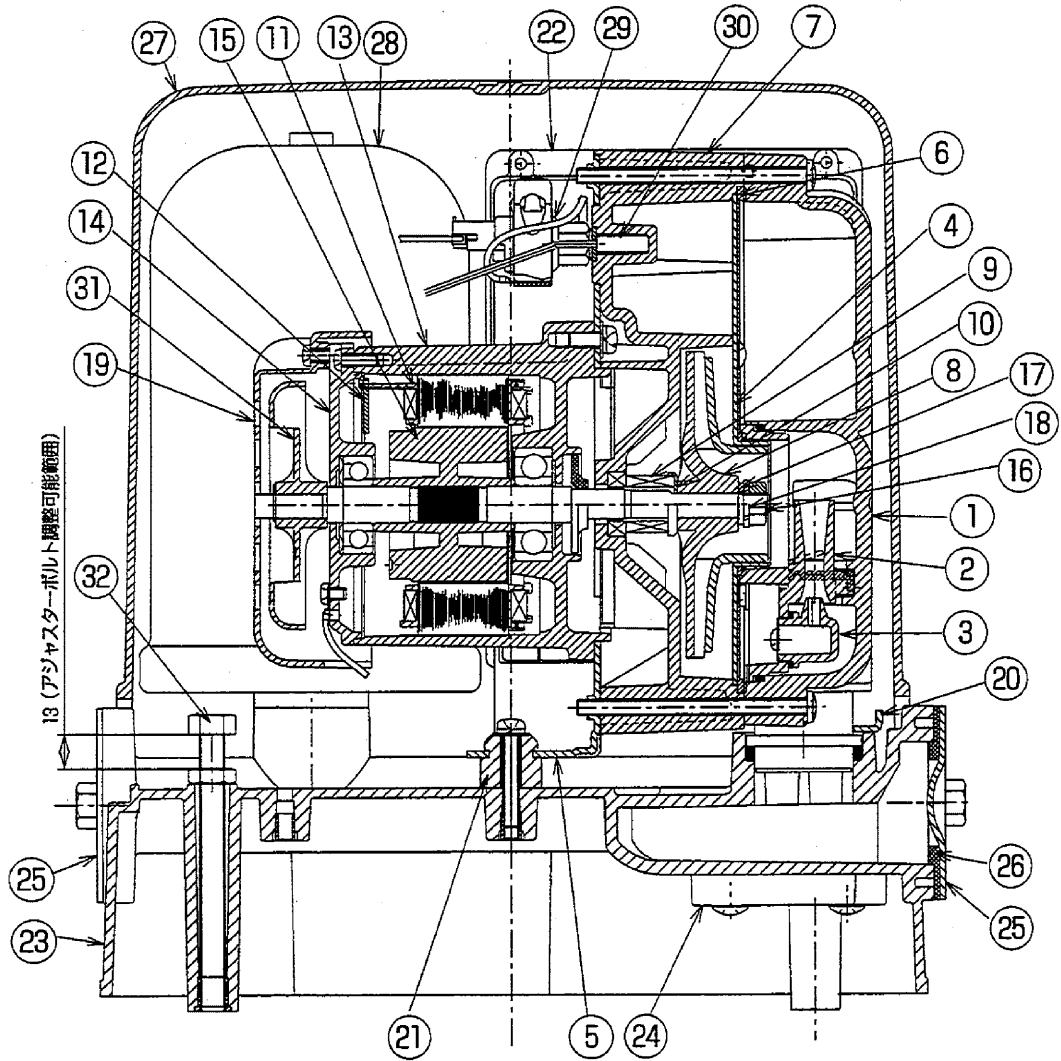
# 外形寸法

(単位：mm)



# 構造図

## ● PG-131ADC/201ADC



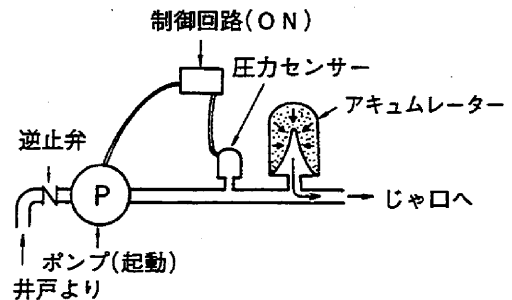
16	ナット	SUS	1	羽根車固定用	32	アジャスターボルト	SUS	4	
15	ローター完成		1		31	ファン	PP	1	
14	モーターカバー	ADC	1		30	温度センサー		1	
13	モーターフレーム	ADC	1		29	圧力センサー		1	
12	プリント基板完成C		1		28	アキュムレーター		1	
11	巻線完成		1		27	ポンプカバー	PP	1	
10	固定金具(メカニカルシール用)	SUS	1		26	フランジパッキン	NBR	2	吸入側/吐出側F用
9	メカニカルシール		1		25	閉塞フランジ	SUS	3	
8	羽根車	PPE	1		24	キャップA	PP	1	
7	ケーシング	PPE	1		23	ベース	PP	1	
6	パッキンA	シリコン	1		22	制御箱	ADC	1	
5	補強板	SGCC	1		21	防振ゴム	NBR	2	
4	仕切板	SUS	1		20	固定金具A	SUS	1	ケーシングカバー専用
3	ノズル	PPE	1		19	ファンカバー	PP	1	
2	エジェクター	PPE	1		18	ばね座金	SUS	1	羽根車固定用
1	ケーシングカバー	PPE	1		17	座金	SUS	1	羽根車固定用
記号	品名	材質	数量	処理・加工	記号	品名	材質	数量	処理・加工

# 作動原理

本機は下記のようなしくみで自動運転します。

## 1. ジャ口を開いてポンプが起動するまで

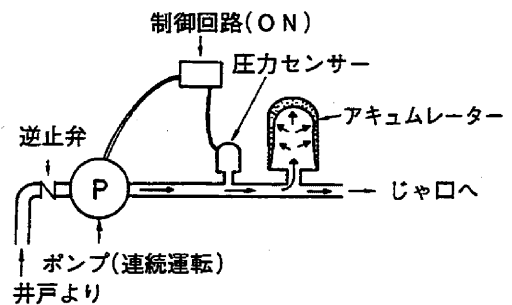
アキュムレーター内の蓄圧水が放出され、ポンプ内部の圧力が起動圧力まで低下すると、圧力センサーが検知し、ポンプが起動します。



## 2. 連続運転

(給水量 3 L/min 超過の場合)

ポンプ内部の圧力を圧力センサーで検知し、使用水量の増減に応じてインバーターでモーターの回転数を制御し、一定圧力で給水します。

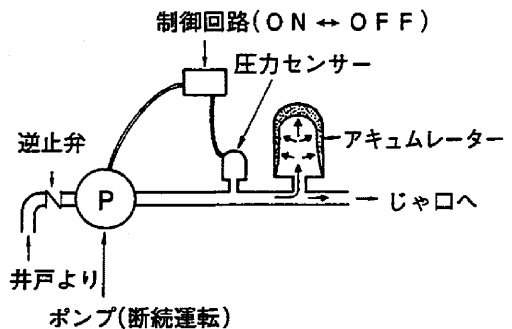


## 3. 断続運転

(給水量 3 L/min 以下の場合)

- (1) ポンプ内部の圧力が上昇し、給水量が 3 L/min 以下になるとポンプを停止します。
- (2) 停止後、吐出側圧力が起動圧力以下まで低下すると、ポンプが再び起動します。

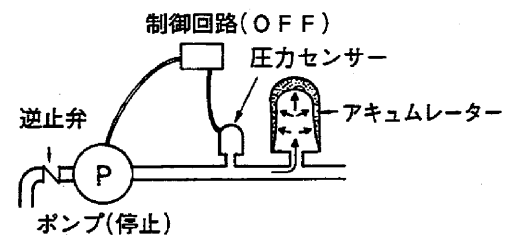
※ポンプの頻繁な起動・停止を防止するため、30秒運転した後、ポンプを停止します。ただし、30秒運転中にジャ口をさらに開き、吐出側圧力が起動圧力以下まで低下すると、一定圧力で給水します。



## 4. ジャ口を閉じると…

ポンプ内部の圧力が上昇し、給水量が 3 L/min 以下になると、ポンプが停止します。

※ポンプの頻繁な起動・停止を防止するため、30秒運転した後、ポンプを停止します。

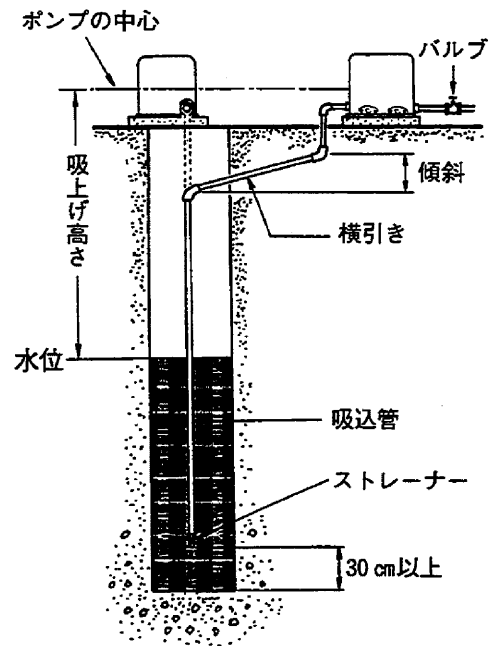


## 配管工事の前に

- 新しく井戸を掘られた場合は、井戸の砂を十分に取り除いてから配管してください。  
(羽根車に砂をかみ込むと、故障の原因になることがあります。)
- 水道管に直接配管しないでください。(水道法で禁止されており、故障の原因になります。)
- 配管は規定の管径のものをご使用ください。

## 配管工事

- 横引き配管は、とり居配管にしないでポンプ側が高くなるように傾斜をつけてください。
- ポンプの吐出口は3方向より選べます。  
(吐出口を変更する場合は、吐出側フランジ・パッキン・ボルトと吐出側閉塞フランジ・Oリング・ボルトをセットで取り換えて配管してください。)
- ポンプの吸込口は2方向より選べます。  
(吸込口を変更する場合は、吸込側閉塞フランジをはずし、吸込側フランジと逆止弁を取り付けて配管してください。)
- ポンプの高さは、アジャスターで調節(最大+13mmまで)できます。  
(ベース四隅の六角ナットをゆるめ、六角ボルトを回して高さを調節した後、六角ナットを締めてください。)
- ストレーナーは必ず取り付けてください。



### 押上げ高さについて

押上げ高さは、工場出荷時には下表のように設定されています。井戸水をためた受水槽からの押上げ用として使用される場合には、次ページの手順で圧力設定を「高め」に切り換えることで、6m高くすることができます。

※ただし、この場合の吸上げ高さは2m以内です。

### ● 押上げ高さ設定値

品番	工場出荷時	調整後
PG-131ADC	9 m	15 m
PG-201ADC	12 m	18 m

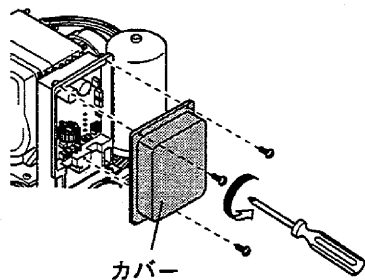


## 配管工事

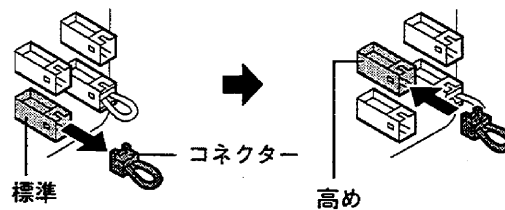
### ● 押上げ高さ切り換え方法

下記操作は、電源プラグをコンセントから抜くか、漏電しゃ断器を切って、行ってください。  
(電源ランプが完全に消えてから操作しないと、圧力設定は切り換わりません。)

1. ポンプカバーをはずし、制御ボックスのカバーをはずす



2. 圧力設定用コネクタの「標準」からコネクタをはずし、「高め」に取り付ける  
(19 ページ参照)



作業後は、制御ボックスのカバーとポンプカバーを元どおりに取り付けてください。

# 電気配線工事



■配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従い、安全・確実に行う



誤った配線工事は、感電や火災の原因になります。

- 配線工事は、電気設備技術基準に基づき、電気工事士の方が行ってください。

■アース工事は必ず電源プラグをコンセントから抜くか、漏電しゃ断器を切って行う



電源プラグを抜く

感電の原因になります。

■漏電しゃ断器を必ず取り付ける



故障や漏電のときに感電の原因になります。漏電しゃ断器の取り付けは、法律で義務づけられています。

- 万一漏電が起こった場合、感電を防止します。

■アース線は必ず取り付ける〔D種接地工事（旧第3種接地工事）〕



アース線接続

故障や漏電のときに感電の原因になります。アース線の取り付けは、法律で義務づけられています。

- アース線をポンプのアース端子に接続し、アース棒を地中に埋めてください。
- アース工事は電気設備技術基準に基づき、電気工事士の方が行ってください。

■アース線はガス管、水道管、電話線および避雷針に絶対に接続しない



禁止

爆発・感電の原因になります。



■制御ボックスの修理・点検のときは、必ず電源プラグを抜くか、漏電しゃ断器を切る



制御ボックス内部は通電していますので、感電の原因になることがあります。

■制御ボックスの除菌器用端子台には、触れない



除菌器用端子台は通電していますので、感電の原因になることがあります。

■制御ボックスに水をかけない



水ぬれ禁止

内部の電子回路部がぬれると、誤動作や感電の原因になることがあります。

- 電子回路部に水がかかった場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜くか、漏電しゃ断器を切り、水気をふき取って十分に乾燥させてからご使用ください。

# 電気配線工事

## ■電源電圧をご確認ください。

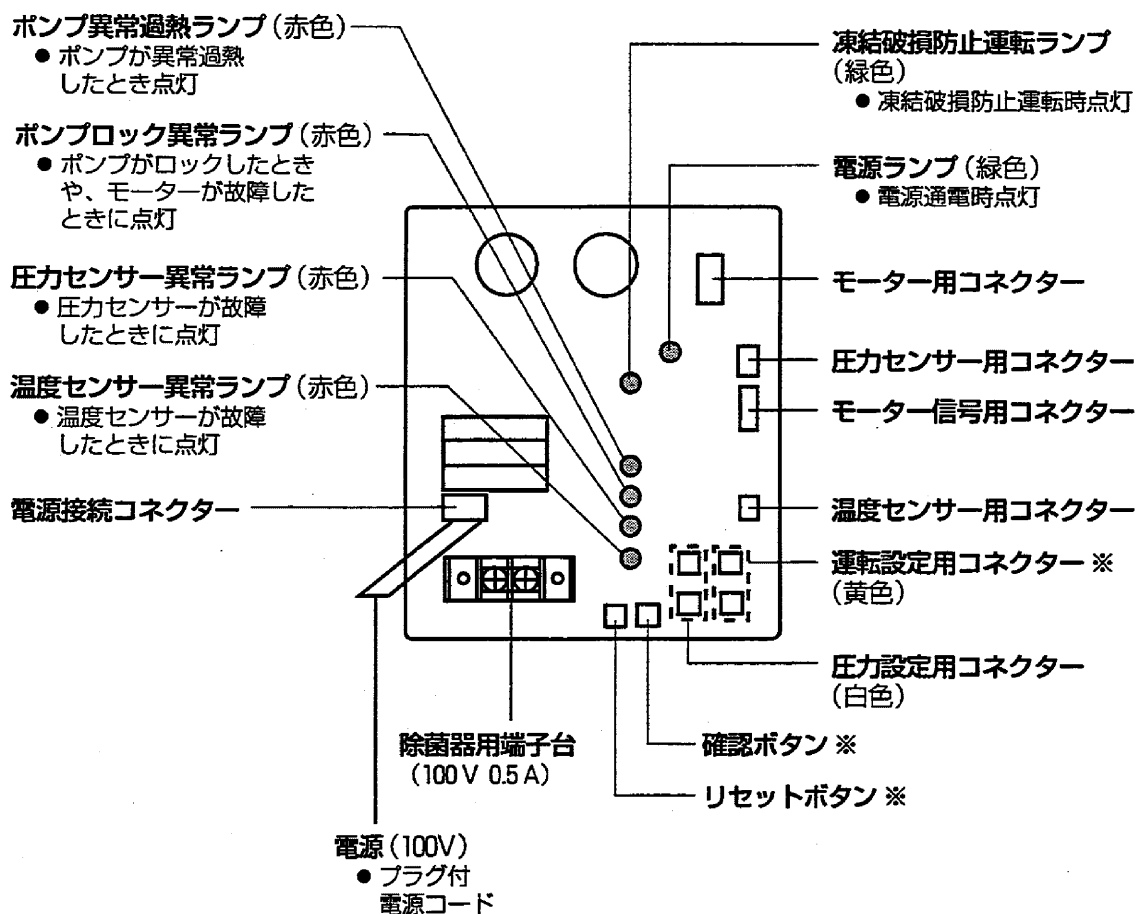
- 電源電圧は定格電圧の±10%の範囲内でご使用ください。範囲外の場合は電力会社にご相談ください。(範囲外で使用されますとモーター焼損の原因になります。)

## ■結線方法

専用のコンセントを設けてください。

- 屋外の場合は、防水形コンセントをご使用ください。

## ■制御ボックス内部の結線図と表示ランプについて

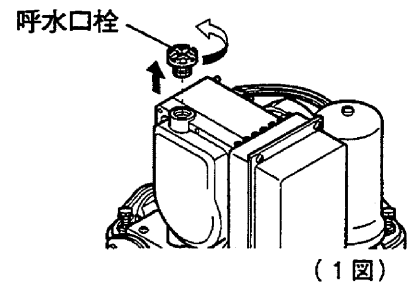


### お願い

- ※のコネクタとボタンは、緊急時やメンテナンス時以外は触らないでください。(26ページ参照)
- 除菌器を使用する場合、電源は必ず除菌器用端子台に接続してください。
- 除菌器の電源は、除菌器の電源コード先端に絶縁被覆付丸形端子を圧着し、接続してください。

## 試 運 転

- ① ポンプカバーをははずす
- ② 呼水口栓をははずす (1 図)
- ③ 呼水口より、やかんなどで満水になるまで、水をゆっくりと流し込む (2 図)



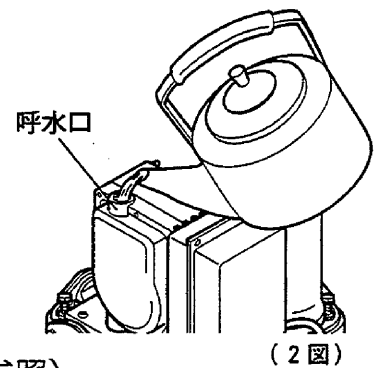
■モーターや制御ボックスに水をかけない



禁 止

感電の原因になることがあります。

- ④ 呼水口栓を元どおりに締めつける
- ⑤ 吐出側配管のバルブ、およびじゃ口を1か所開く
- ⑥ 電源を入れる
- ⑦ じゃ口より水が出はじめたら、じゃ口を数回開閉し、ポンプが自動運転することを確認する (15 ページ「作動原理」参照)
- ⑧ ポンプカバーを取り付ける



### お願い

- 必ず呼び水をして運転してください。  
(故障の原因になることがあります。)
- 電源を入れて5~6分間たっても水が出ない場合は、呼び水が不足している場合がありますので、電源を切り再度呼び水してください。
- 水が出はじめたら、砂の混入状況および、配管からの水漏れ、運転音の異常などがいないか、確認してください。

## 凍結防止

冬期は、暖かい地方でも思いがけない寒波のためにポンプや配管が凍結し、破損する場合がありますので、必ず下記の凍結防止対策を行ってください。

### ■配管の保温

露出部には、必ず保温材や市販の水道凍結防止器を巻いて保温し、横引き配管は地中に埋めてください。

※埋める深さは、その地方の気温や地質によって決めてください。

### ■ポンプの保温

#### ●外気温が2℃近くになると…

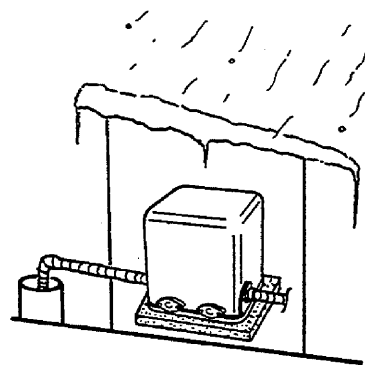
温度センサーが作動し、ポンプを自動的に保温する凍結破損防止運転を行います。  
なお、ポンプ部の温度が4℃以上になると凍結破損防止運転は停止します。

#### ●外気温が特に低い（無風時で-15℃以下の）地方では…

凍結破損防止運転だけでは効果がありませんので、  
コンクリートブロックなどで小屋をつくり、内側に  
保温材を取り付けてください。

※外気温が低くなりますと配管部から熱がにげます  
ので、凍結防止には配管部を含めて、その地方に  
合った対策が必要です。

※凍結による破損の修理は有料です。



凍結防止のために、ポンプカバーやポンプカバー内のモーター部に毛布などをかぶせない



禁止

過熱による発火で火災の原因になります。

### お願い

- ポンプ小屋は夏期に風通しができるようにしてください。
- ポンプ小屋には修理・点検ができるスペースを設けてください。また、排水ができるようにしておいてください。
- 電源を切ると凍結破損防止運転ができませんので、電源は常時入れておいてください。

## 消耗部品について

ポンプ性能を維持するために下記部品の定期的な点検・交換が必要となります。  
ただし、ポンプの使用状態、水質により交換時期は異なります。

### ■ポンプ・モーター部

消耗部品名	交換時期の目安
Oリング	分解点検ごと
メカニカルシール	3年
玉軸受（モーターベアリング）	4年

### ■その他の構成機器

消耗部品名	交換時期の目安
アキュムレーター	4年
圧力センサー	5年
逆止弁	3年
パッキン	分解点検ごと

## 正しくお使いいただくためのお願い

清水以外の液体（塩水・油・化学薬品など）には、絶対に使用しないでください。

- 部品がいたみ、水漏れや故障の原因になることがあります。

使用可能最高水温（40℃）以下でご使用ください。

- 40℃より高い水温で使用すると、部品がいたみ、水漏れや故障の原因になることがあります。

### 設置に関して販売店（工事店）に必ず確認してください

屋内設置の場合は、水漏れ対策が行われていますか？

- 修理・点検時や万一の故障のときに水が出ますと周囲や階下などが水びたしになり、大きな補償問題になることがあります。

アース線・漏電しゃ断器が取り付けられていますか？

- 故障や漏電のときに感電する恐れがあります。アース線・漏電しゃ断器の取り付けは、法律で義務づけられています。

アース線をガス管、水道管、電話線および避雷針に接続していませんか？

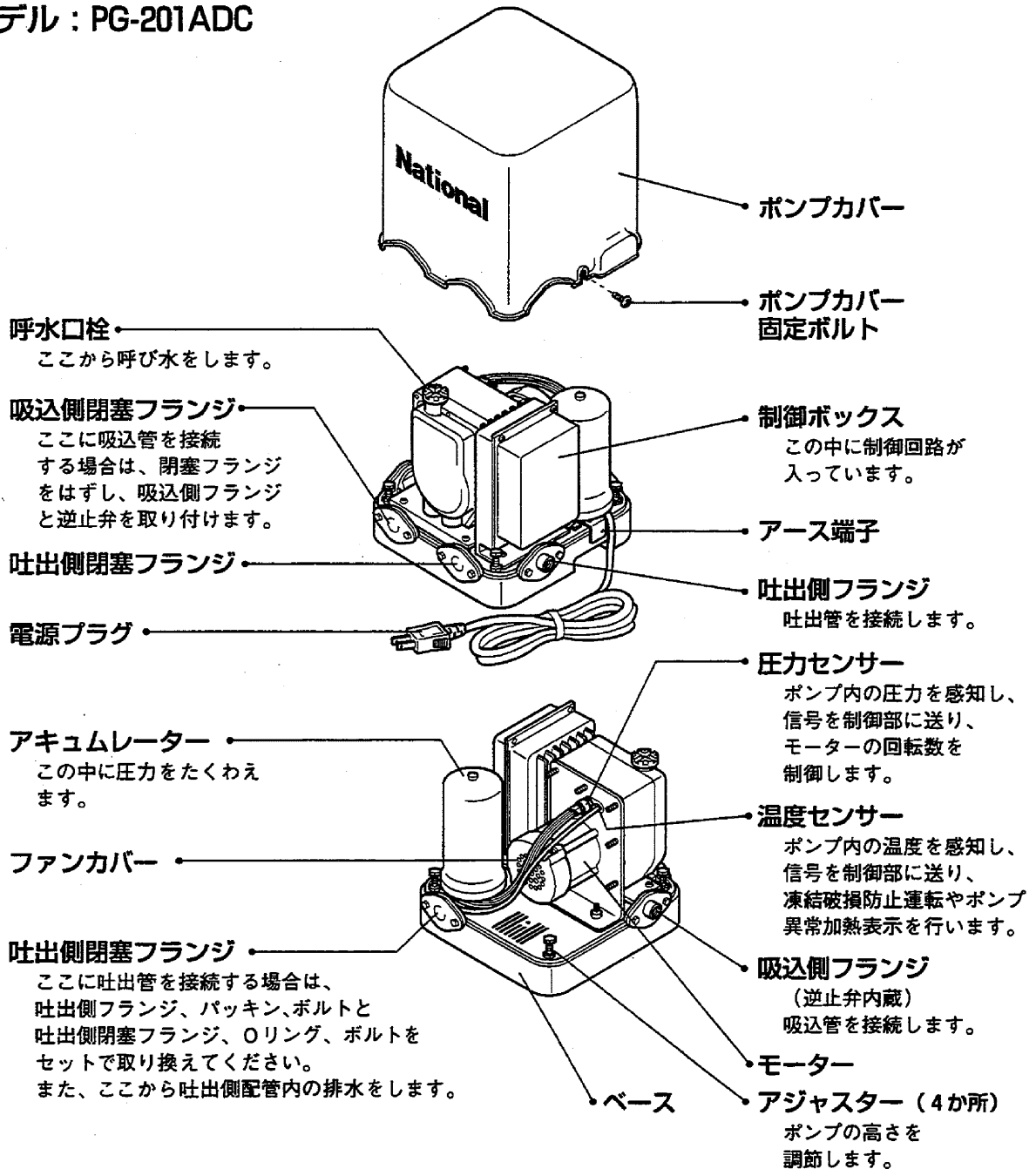
- 爆発・感電の原因になります。

本機および配管の凍結防止は行われていますか？

- 冬期は、暖かい地方でも思いがけない寒波のためポンプや配管が凍結し、破損することがあります。凍結による破損の修理は有料です。

# 各部のなまえとはたらき

モデル：PG-201ADC



## 使いかた

試運転までは販売店（工事店）が責任をもって行いますので、電源を入れておけば、給水栓を開閉するだけで自動運転します。

このポンプは、水の使用量の増減に応じ、インバータでモーターの回転数を制御して一定圧力で給水します。

### お願い

じゃ口の閉じかたが不完全で、水漏れがあると、ポンプが運転・停止をくり返しますので、使用後はじゃ口を確実に閉じてください。



## 故障かな？と思ったときには

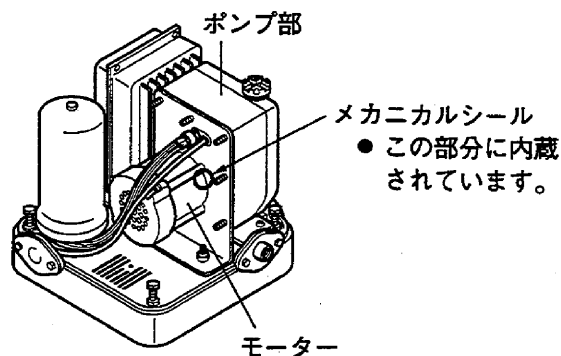
万一故障かなと思われることがありましたら、修理依頼をされる前に次のことを調べてください。それでもなお異常があるときは、電源プラグを抜いてお買い上げの販売店（工事店）へ表示ランプの状態を連絡し、ご相談ください。

症状	原因	処置
ポンプが動かない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電源プラグが抜けていませんか？</li> <li>●漏電しゃ断器が切れていませんか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電源プラグを差し込んでください。</li> <li>●漏電しゃ断器を入れてください。</li> </ul>
水量が少ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●配管途中のバルブは完全に開いていますか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●バルブを完全に開いてください。</li> </ul>
水を使用しないのに、ポンプが運転・停止する	<ul style="list-style-type: none"> <li>●じゃ口より水が漏れていませんか？</li> <li>●メカニカルシールが摩耗して水が漏れていませんか？</li> </ul> <p><b>外気温が低いときは</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●外気温が2℃近くになると、温度センサーが作動し、凍結破損防止運転を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●じゃ口を完全に閉じてください。</li> <li>●下記の「メカニカルシールについて」をご参照ください。</li> <li>●異常ではありません。</li> </ul>

### ■メカニカルシール（モーターとポンプ部間の軸封部品）について

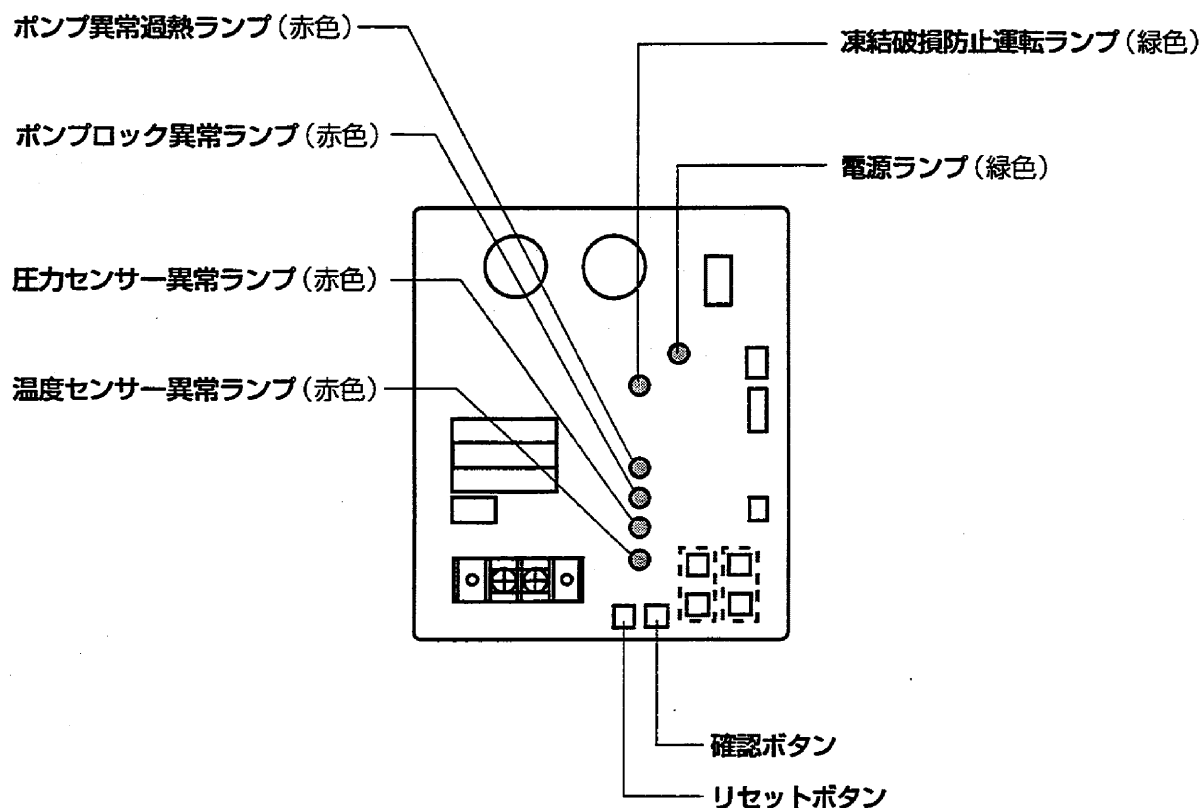
メカニカルシールは長年の使用により摩耗し、ポンプ部の下から水漏れが発生しますので、販売店（工事店）に交換をご依頼ください。

（寿命は水質や使用時間などで異なります。）



# 故障かな？と思ったときには

## ■制御ボックス内部の表示ランプについて



- 電源ランプ (緑色) … 井戸ポンプに通電しているとき点灯します。
- 凍結破損防止運転ランプ (緑色) … ポンプが凍結破損防止運転をしているときに点灯します。
- ポンプ異常過熱ランプ (赤色) … ポンプが異常過熱したときに点灯します。  
※ポンプは運転停止状態になります。
- ポンプロック異常ランプ (赤色) … ポンプがロックしたときや、モーターが故障したときに点灯します。  
※ポンプは運転停止状態になります。
- 圧力センサー異常ランプ (赤色) … 圧力センサーが故障したときに点灯します。  
※ポンプは運転停止状態になります。
- 温度センサー異常ランプ (赤色) … 温度センサーが故障したときに点灯します。  
※ポンプは運転停止状態になります。

### お願い

異常ランプが点灯した場合、ポンプは運転停止状態になります。そのときは電源プラグを抜き、原因を取り除いてから再度電源プラグを差し込み、リセットボタンを2秒以上押し続けてリセットしてください。

---

## ■確認ボタンの使用方法

確認ボタンを使用し、ポンプ稼動時間や異常履歴を表示することができます。

### ●ポンプ稼動時間を表示する時：

確認ボタンを短押しすると、ポンプの稼動時間を異常のランプにより表示します。  
(この時凍結破損防止運転ランプ（緑色）が点滅します。)

例：稼動時間が

1000 時間未満の時	.....	ランプ点灯せず
1000 時間以上 2000 時間未満の時	...	ポンプ異常過熱ランプが点灯
2000 時間以上 3000 時間未満の時	...	ポンプロック異常ランプが点灯
3000 時間以上 4000 時間未満の時	...	ポンプ異常過熱ランプとポンプロック異常ランプが点灯

※表示は異常ランプを使い2進数表示されています。

※30 秒経過またはもう一度確認ボタンを押すと、表示は解除されます。

### ●異常履歴を表示する時：

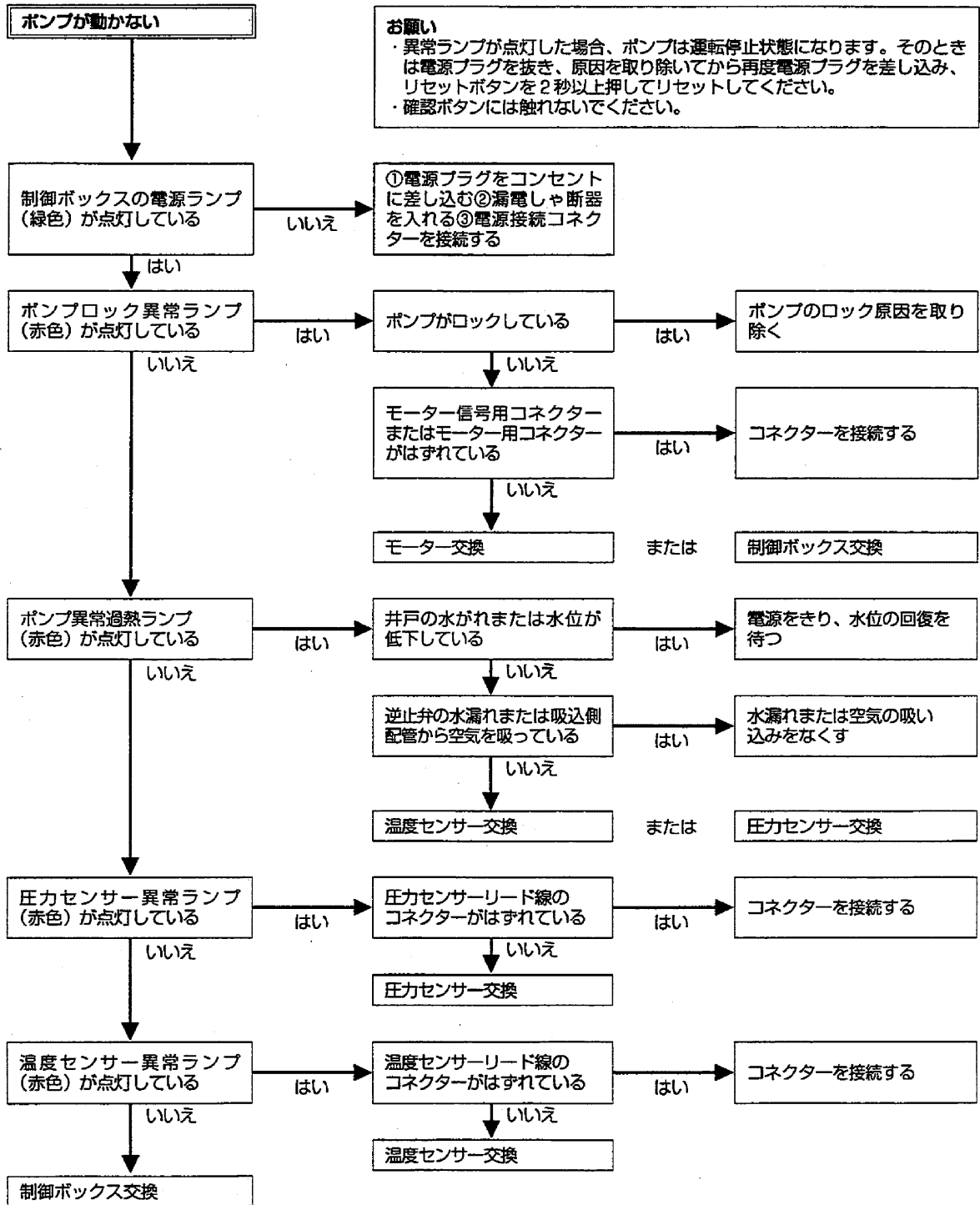
確認ボタンを2秒以上押すと、過去に発生した異常のランプが点灯します。  
(この時凍結破損防止運転ランプ（緑色）がフラッシュ点滅します。)

例：過去にポンプ異常過熱が発生した場合 → ポンプ異常過熱ランプが点灯

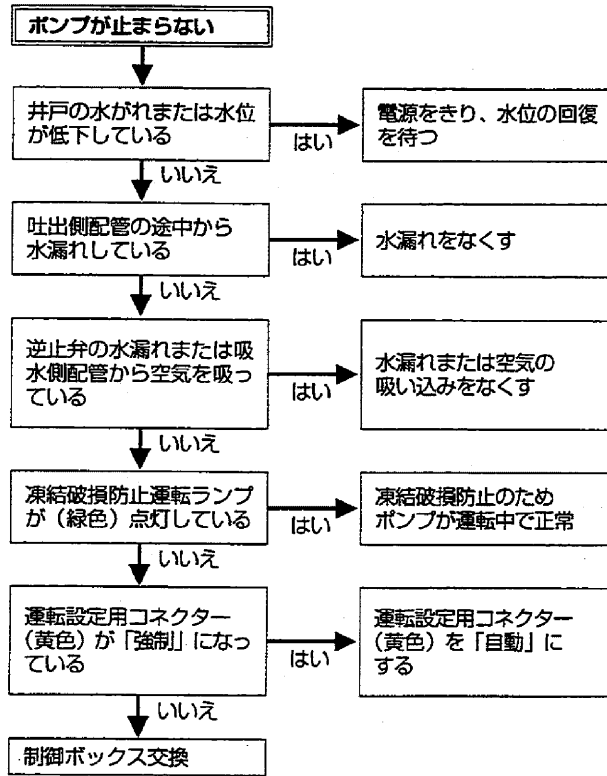
※30 秒経過またはもう一度確認ボタンを押すと、表示は解除されます。

# 故障診断

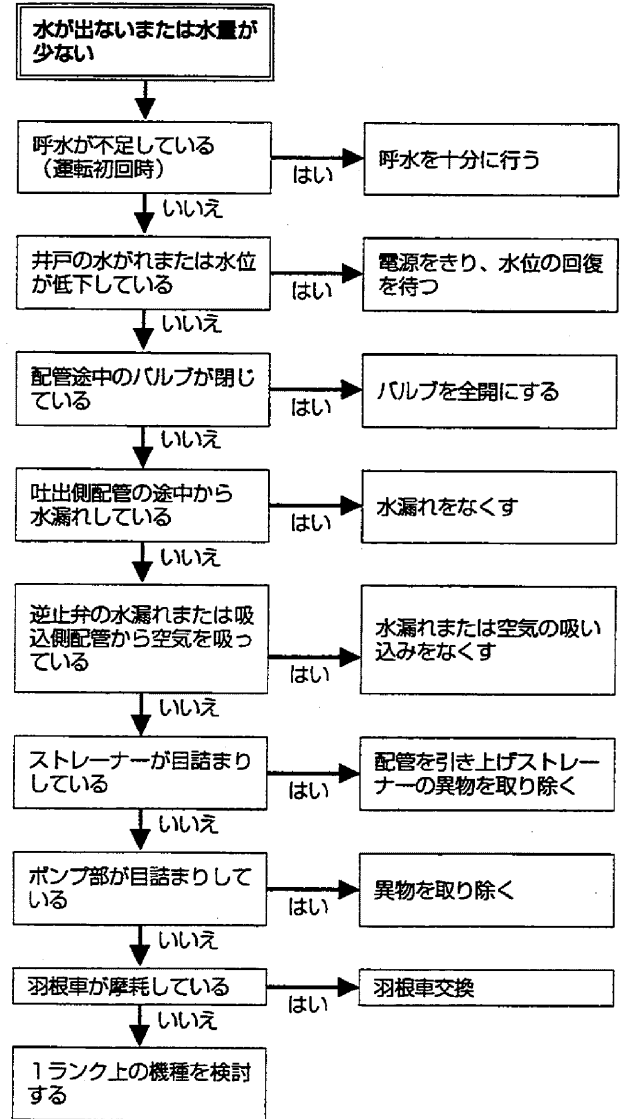
## 1. ポンプが動かない



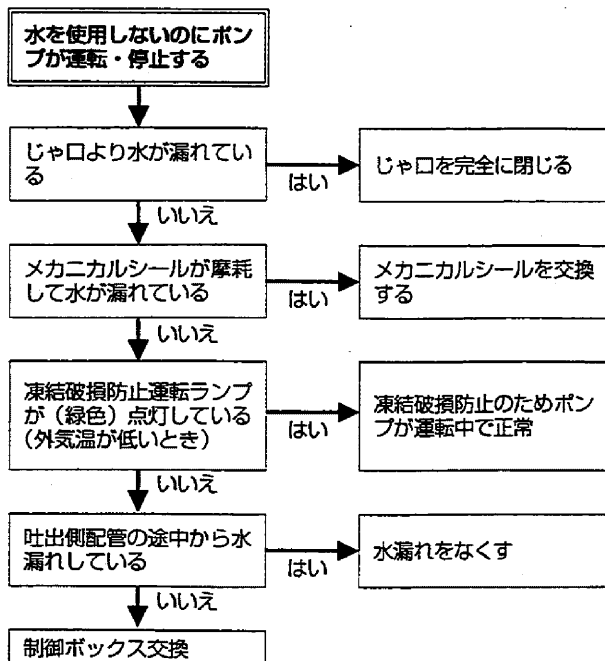
## 2. ポンプが止まらない



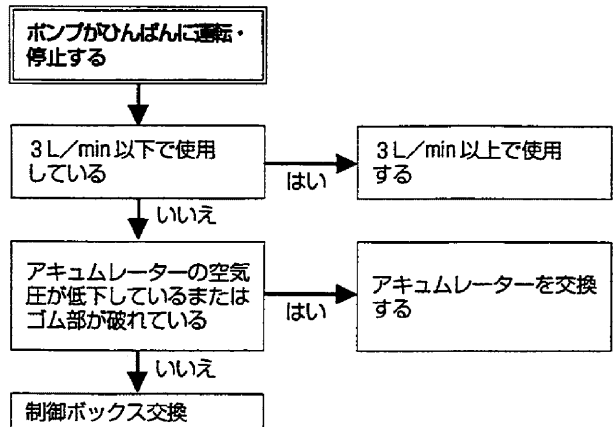
## 3. 水が出ないまたは水量が少ない



## 4. 水を使用しないのにポンプが運転・停止する

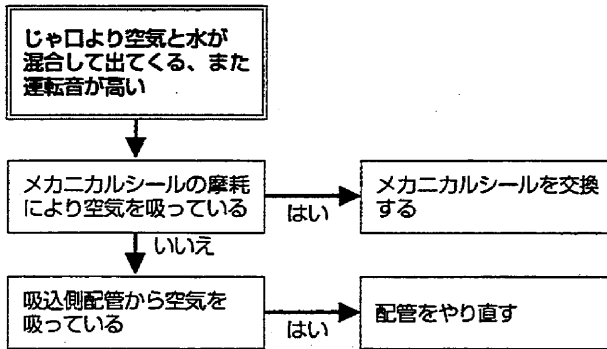


## 5. ポンプがひんぱんに運転・停止する

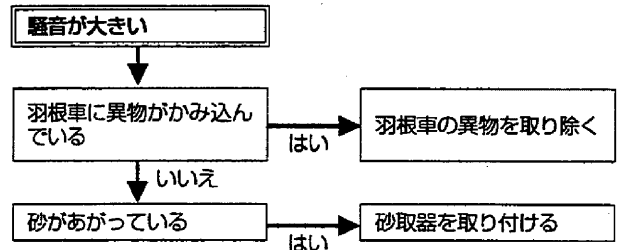


# 故障診断

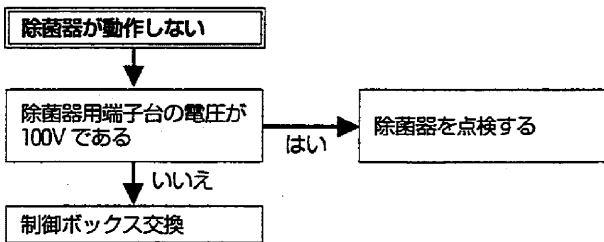
## 6. ジャ口より空気と水が混合して出てくる



## 7. 騒音が大きい



## 8. 除菌器が動作しない

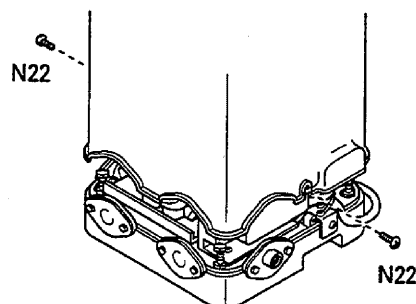


# 分解手順

## 1. 圧力センサー交換のしかた

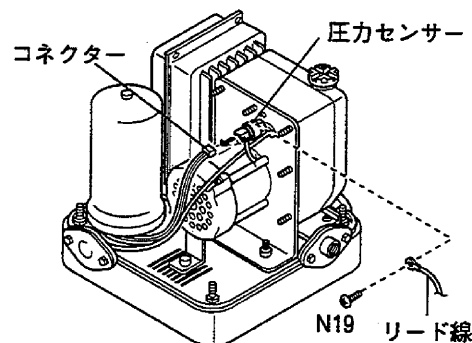
### 1. ポンプカバーを取りはずす

- ⊕ドライバーでポンプカバー固定ボルト (N22・2個所) を取りはずし、ポンプカバーを取りはずします。

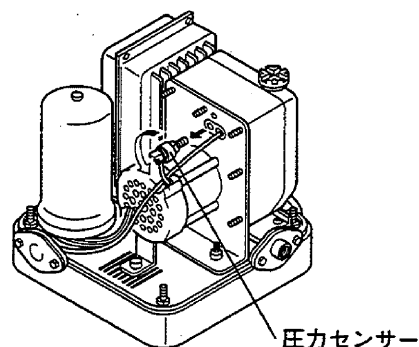


### 2. 圧力センサーを取りはずす

- (1) 圧力センサーリード線のコネクターを抜く
- (2) 補強板に取り付けられているリード線をはすす
  - ねじ (N19 1本) をはずす



- (3) 圧力センサーをはすす
  - スパナでゆるめて取りはずす



### 3. 圧力センサーを新品と交換する

- (1) 圧力センサー取付部 (ねじ部) に新しいシールテープを巻き付ける (約3回巻)
- (2) 新しい圧力センサーを取り付ける
  - スパナで圧力センサーをねじ込む
  - ※水漏れしない程度に締め付けること

### 4. 組み立て

組み立ては、分解の逆の手順で行なう

# 分解手順

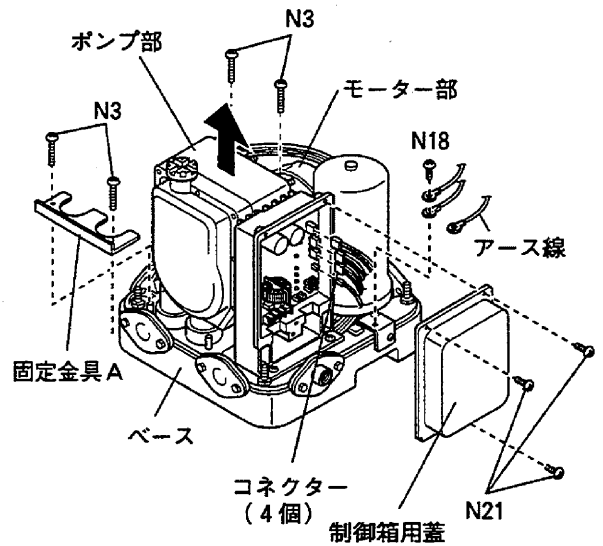
## 2. モーター交換のしかた

### 1. ポンプカバーを取りはずす

- 1.1 項を参照し、取りはずしてください

### 2. ポンプ/モーター部をベースより一体で取りはずす

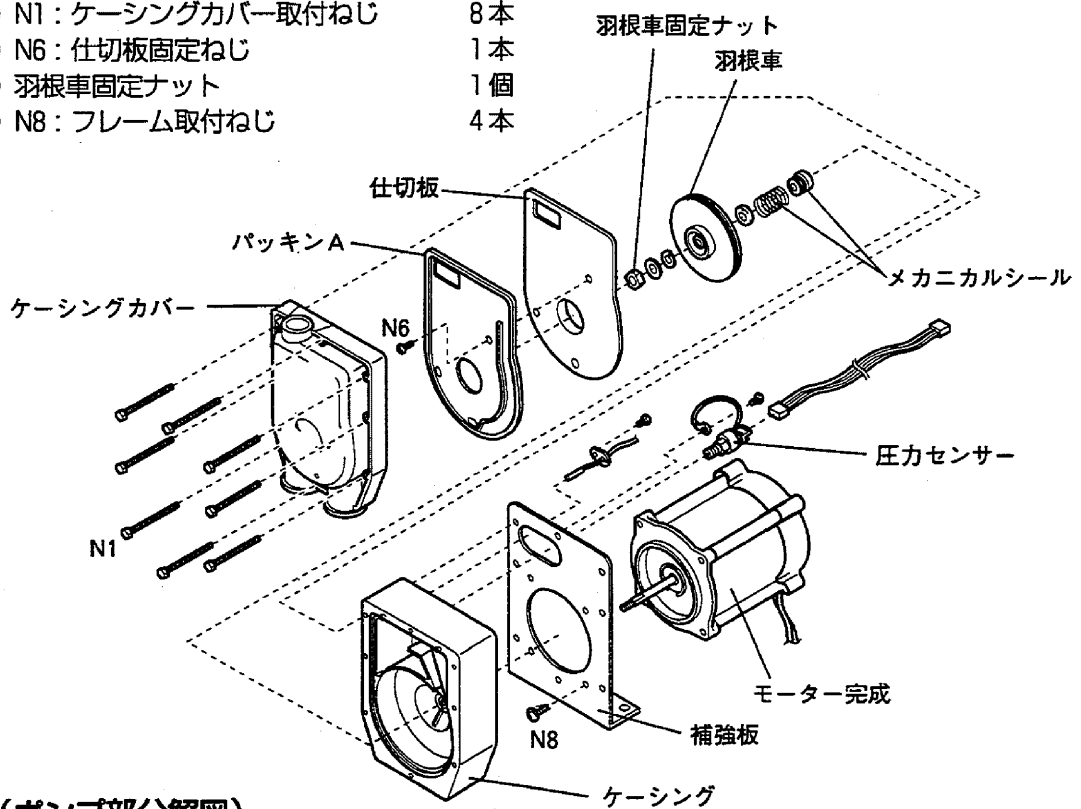
- (1) 固定金具Aをははずす
  - ねじ (N3 2本) をはずす
- (2) 制御箱用蓋をははずし、コネクター (4個) を全て取りはずす
  - ねじ (N21 3本) をはずす
- (3) モーターのアース線をははずす
  - ねじ (N18 1本) をはずす
- (4) ポンプ/モーター部を上方へ持ち上げ取りはずす
  - ポンプ/モーター部を取り付けている取付ねじ (N3 2本) をはずす



### 3. ポンプ部を分解する

- ⊕ドライバーおよびスパナで下記の順番に各ねじ、ナットを取りはずし、分解します

- (1) N1: ケーシングカバー取付ねじ 8本
- (2) N6: 仕切板固定ねじ 1本
- (3) 羽根車固定ナット 1個
- (4) N8: フレーム取付ねじ 4本



(ポンプ部分解図)

※各部品の名称等詳細はP33~P34「展開図」および「補修部品価格表」を参照ください。

### 4. モーターを交換し、組立てる

- 新しいモーターと交換し、逆の手順で組立てます